

欧州特許庁、ロシア知的財産庁との更なる協力に合意

2011年10月3日  
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、9月30日、ロシア知的財産庁（Rospatent）と知的財産における協力を更に発展させる共同活動に関する覚書に署名を行った旨、プレスリリースを行った。

署名は、9月27日にジュネーブにおいて、EPOのバティステリ長官とRospatentのシモノフ長官との間で行われたもので、4年間の合意期間に、人材資源の研修と発展、特許権付与の手續と処理、および、データ交換等の主要な分野において協力を進めるとしている。

同プレスリリースにおいて、EPOのバティステリ長官は次のとおりコメントしている。「EPOとRospatentは協力の長い歴史があり、これまで、双方に大きな利益をもたらしている。ロシアは欧州にとって3番目に大きなパートナーであり、非常に多くのEUの海外投資を引き付けている。我々の継続的な協力はロシアの特許システムの強化を支援し、ロシアの特許システムを欧州の特許システムにより近づくように調和させるだろう。そして、それは、ロシアでビジネス活動を展開する企業にとっての恩恵になるに違いない。また、協力を通じて、EPO審査官および世界中のイノベーターに対する大量のロシアの技術知識へのアクセスがさらに開放されるだろう。」

－ EPOのプレスリリースは、以下参照 －

[EPO and Russian patent office sign co-operation agreement](#)

(以上)